

企業名： キューピー

レポート名： 統合報告書 2023

この会社が目指している将来の姿が理解できるか

何ページにも渡って詳細に将来像が描かれており、理解しやすいと言える。

まず、企業の目指すものは、「おいしさ・やさしさ・ユニーク」によって世界の食と健康に貢献することだと記載されている。2ページに強調して書かれており、誰しもが目を留めるような書き方となっており、これがグループの主軸なのだろう。

また、キューピーは「2030 ビジョン」を設定しているらしく、サラダに価値を提供したり、老若男女問わず全ての人の食生活に寄り添うことであつたり、未来を築く子供たちが元気でいられるような社会を目指したりしていることが見て取れる。

全体から見て分かるのが、明らかにグローバル化に対応しようという点だ。今よりもさらに海外へ進出していこうという努力が強く出ているように感じられる。現に5ページには、2030年度までに海外での収益を今の2倍である200億円を目指すと書かれており、そのために北米エリアや東南アジアエリア、欧州エリアでの今後どう展開していくのか、分かりやすく説明されている。特に、日本の品質を海外に輸出しながら様々な食べ方を提示する姿勢が分かる。

この会社の現在の競争優位性が理解できるか

かなり分かりやすく記載があり、理解できる。

9ページのチャートは特に分かりやすく、何がキューピーにとっての大事なもののなのかが人目で理解することができる。この表によると、ブランド力の高さや研究開発力、供給の安定さ、食シーンの提案力、多様な人材、そして財務体質の強さという6つの項目が価値創造を支える経営資本だという。これに取り組むべきテーマを書き添えられており、目標達成に繋げていくという構図が非常に分かりやすくまとまっている。

その後のページからは各項目の詳細が記載されている。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

これも分かりやすく理解できる。

18～20 ページの対談形式の項目で、環境の変化に適応するグループの方向性を見ることができる。その時代その時代の環境に合わせることで、時代に取り残されることはなくなる。やはり、大きな点はグローバル化への対応だろう。市場を日本に限定せず、海外へ展開していくことで、これまで蓄積させてきたキューピーの技術を閉ざすことなく、さらに発展していくとのことだ。さらに日本の美徳である謙虚さも、場合によっては切り捨てて、グローバルな競合企業と戦っていくらしい。知識のない自分でも、環境変化についていくぞというトップの意思が汲み取れ、このキューピーなら競争優位性を持続させていけるだろうと感じられた。

さらに 25 ページのキャッシュ・フローの配分という項目には、財務的な現状の記載がある。そこからは今後も財務基盤が強固であると推測することができ、こうした金銭面から見た持続性も読み取ることができるのではないか。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

記載されていることが実現できるとすれば、確実にスキルアップできると考えられる。主に 26 および 27 ページの、「人材戦略」という項目からこのように判断した。

まず 26 ページには、人材の育成に関するグループ全体の方針が記載されている。ここによれば、国内だけでなく海外での発展も目指すために、人的資本への投資を行うという。1 万人以上の社員一人一人と向き合って多様性を認め、各従業員が能力を発揮できるような環境にしていくとのことだ。具体的には、キャリアに関する情報を提供したり、コーチングしたりすることを通して、従業員が自己実現できるようにするらしい。他にも「シャッフル・ミーティング」や「KEEP20」等という、独自の制度を採り入れ、従業員の声が経営に反映されやすくしている。

続いて 27 ページには、各部門からのさらに具体的な人材育成の方法が書かれている。実際にこれまでキャリアアップできてきた功績がグラフとしてまとめられているため、これまでのグループの方針が間違えていなかったことを確認することができる。

このように、ただ目標を掲げるだけでなく、しっかりと成果を出せていることから、人的資本の価値を向上させられるのは間違いないだろう。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

全体的に見やすい作りとなっていた。そのため、企業についての前提知識が無い方にとって、統合報告書はその企業の経営方針を知るのに最適だと感じられた。実際、個人的にキューピーといえばマヨネーズであり、逆にそれ以外のことは全くと言っていいほど無知であ

った。しかし、この統合報告書を見ることで、自分たちの企業がどんなことをしてきて、グループとしてどんなことを目指しているのか、読んだだけで垣間見ることができた。もちろん、これを読むだけで全てを把握できるとは思えないが、少なくとも最低限の情報を入手することはできるだろう。専門的な用語が用いられていないことから、経営やビジネスにあまり詳しくない場合でも、しっかりと理解できるように作られているのだと思われる。他にも色づかいや図表、チャートなどが効果的に用いられており、読んでいてストレスのかからない作りとなっていた。さらに、全体的に人物写真が多く載っていたが、これは役員らの方々が責任を持ってグループを引っ張っていくという強い意志の現れに感じられ、安心しながら読み進めることができた。

改善点はほとんど見受けられない。目標が明確である上、それを達成するためにどんな事を行うのかも詳細に記載されている。初めは目標が抽象的に書かれており、どう達成するのかが分かりにくいように感じられたが、読み進めていくうちに具体的な方法が事細かに記載されており、グループの方向性を理解することができた。もしかしたら、数字などのデータとしての目標を各部に用いれば、より具体性が増すかもしれないと思ったが、将来の事はそこまで詳細さが求められていないのかもしれない。少なくとも、大まかな目標値は設定されているため、それで充分なのだろう。

素人目線でもキューピーの経営方針がひと目でわかる、そんな報告書となっている。